

	課題分析	授業改善策
国語	【知識・技能】 ○全国学力・学習状況調査の結果から、文脈に即して漢字を正しく使うことができるかという問題に対して、無解答の割合が都平均、全国平均より多い。 【思考・判断】 ○全国学力・学習状況調査の結果から、読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみるという問題に対して、都平均より正答率が低い。	【知識・技能】 ○漢字や語句が話や文章の中でどのように使用されているか、生徒が理解したり表現したりするときによいように用いるかについて考える機会を増やす。 【思考・判断・表現】 ○文章を書く際に、読み手の立場に立った客観的な視点をもつ意識や、目的や意図に応じた表現ができるように、表記や語句の用法、表現の仕方や効果を考え文章を記述できるようにする。
社会	【思考・判断・表現】 ○自分の言葉で表現することや、学習内容を結び付けて価値を見出すことが苦手である。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○生徒アンケートの「授業の中で学んだことや興味をもったことについて、自ら学びを進めることができた」の項目について、「十分にできた」の回答が全学年4割程度であり、他の項目に比べ「十分にできた」の回答の割合が低い。	【思考・判断・表現】 ○自分の言葉で表現する際にポイントやキーワードを示したり、身近な話題を取り入れて学習内容と関連付けたりして価値を見出すことができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○授業の中で課題を自己決定し、課題に対する自分なりの答えを導き出す活動を通して、学びを深めていく。そのために、タブレットを活用し、情報収集をしたり、他者の取り組み内容を参考にしたりすることができるように支援する。
数学	【知識・技能】 ○全国学力・学習状況調査の結果から、用語の意味を理解していないことに課題がある。とくに、データの活用の領域に課題がある。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業アンケートや全国学力・学習状況調査の結果から、「数学の授業の内容はよくわかる」が、「数学が好きだ」と答える生徒が少ない。	【知識・技能】 ○日々の授業で、復習を積極的に取り入れ基本的な用語の意味を定着させる。 ○データの活用では、実際のデータを収集・分析することで、データを活用する意味を実感させ、知識の定着を図る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○基本的知識の定着を図るだけでなく、数学が日常生活と関連している話を取り上げる。数学的活動の楽しさを味わえるような授業を展開する。
理科	【知識・技能】 ○全国学力学習状況調査の結果から、知識や技能が定着している人が少ない。難易度をやさしくした場合、結果が二極化することが多いので、達成度が低い生徒には基本の定着への取り組みが必要にある。 【思考・判断・表現】 ○全国学力学習状況調査の結果から、記述の正答する生徒が多い一方で無回答の人も多い。よって、理解度に差があると考えられる。実験方法は理解しているが、なぜその方法が必要なのかを考える力や、立案する力が弱く、考察などを書く力も身につけていない。	【知識・技能】 ○定期的に小テストを実施し、生徒の達成度の把握に努め、授業内容に反映させる。また、学習の記録をタブレットで管理する。また、知識・技能を定着するために、身のまわりで知識を活用している事例を考えさせる授業を行う。 【思考・判断・表現】 ○実験前にその目的や手順を確認し、実験中注目すべきポイントを分かった上で実験させる。考察すべきことを曖昧にするのではなく、具体的に、また焦点化することで苦手な生徒も書くことができるようにする。

音楽	【知識・技能】 ○歌唱テスト、授業の様子より、発声法や身体の使い方等、基礎的な技能について、また同声部の他者や他声部の歌声と合わせて歌唱する技能について、定着状況に差が見られる。 【思考・判断・表現】 ○定期考査やワークシート、授業の様子より、音楽表現や言語表現について音楽的な諸要素や曲想、音楽の構造・背景などを結び付けて創意工夫することが苦手な生徒が見受けられる。	【知識・技能】 ○常時活動で実施中のストレッチや発声練習の目的意識を再確認した上で、他に援用できるよう理解を伴った下地としての発声法や身体の使い方を指導する。 【思考・判断・表現】 ○音楽的な見方・考え方を養うべく、知覚・感受の連動性を高めるための価値づけを積極的に行うほか、既知事項と学習内容（ノード）をリンクさせ学習の転移を図ることで、より高次の創意工夫を目指す。
美術	【知識・技能】 ○授業中の様子から半数以上の生徒が道具の基礎的・基本的な技能が身に付いていない。 【思考・判断・表現】 ○自分の作りたい作品のイメージを形にすることが苦手な生徒が多々見受けられる。	【知識・技能】 ○タブレットを用いて道具の使い方、技法を伝える。作品を拡大し、作者の細かなタッチを読み取れるようにする。 【思考・判断・表現】 ○動機付けに重点を置く。学年で優秀作品を参考作品として掲示しイメージの具現化の事例を紹介する。
保健体育	【思考・判断・表現】 ○生徒一人一人が課題意識をもって取り組むことができていないが、課題解決に向けた具体的な考えや行動をとることができる生徒は少ない。課題に取り組む行動力の育成が課題である。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○何度も繰り返し練習をしたり、仲間と協力してグループ学習をしたりすることはほとんどの生徒ができるが、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整することに課題がある。	【思考・判断・表現】 ○どんな練習が課題解決に効果的かのヒントを多く提供し、それを選択する段階を取り入れることで、考えることが苦手な生徒も取り組みやすいようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○主体的に取り組んでいる好事例を提示し参考にできるようにすることで、活動量だけでなく、活動の質を高めさせる。また粘り強く取組を行おうとしている姿やその取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする姿を適正に評価し伝えるようにする。
技術・家庭	【知識・技能】 ○授業の様子や定期考査から、基礎的・基本的な知識とそれらに係る技能の習得に課題が見られた。 【思考・判断・表現】 ○自身の実生活に関連付けて問題を見だし、課題を設定し、解決するという点においては課題が見られた。	【知識・技能】 ○本時の目標を明確にし、実物見本や視覚的資料を用いて確実に理解できるように教材の工夫を行う。 【思考・判断・表現】 ○グループでの話し合いの時間を設け、自分と他者の意見を比較し、考えを深め課題解決型の授業を展開していく。

外国語（英語）	【知識・技能】 ○定期考査の結果からみると、読むことや聞くことの知識・技能は定着しつつあるが書くことの知識・技能の定着には課題がみられる。 【思考・判断・表現】 ○授業アンケートの結果から、8割以上の生徒が授業中に言語活動が行われていると実感しているということがわかった。	【知識・技能】 ○書くことの知識・技能は場面によって使用する言語材料を生徒が適切に選択できるよう、ただの問題演習にならないよう、使用する場面や状況を明確にして書く活動を行うよう留意する。 【思考・判断・表現】 ○目的や場面、状況等を明確に設定したうえで言語活動を行うようにし、生徒たちが思考力・判断力・表現力が育成できるように工夫する。
----------------	--	--